

平成23年度 徳島大学・JICA四国・四国NGOネットワーク共催  
 徳島大学 全学共通教育「国際協力論」

No.	月日	講義名	主な内容	担当講師(所属先・役職名)	
1	4月13日	イントロダクション・基礎講座	授業の概要、進め方などを説明した後、国際協力に関する基本的な考え方、用語などを概説する。	饗場和彦(徳島大学総合科学部人間社会学科・教授)	徳島
2	4月20日	ワークショップ	100人の村ワークショップを実施する。	庄田多江、瀬戸口千佳(NPO法人TICO・事務局)	徳島
3	4月27日	中国・貧困地域における教育支援、地域振興支援	中国・内モンゴルの貧困地域で学校建設、奨学金などを支援し、地域の経済力強化にも取り組む活動を知る。	上田勝久(NPO法人内蒙古愛陽教育経済支援協会・会長)	徳島
4	5月11日	ネットを生かした中国支援の活動	中国における教育支援活動について知る。	菅未帆(中国児童教育援助協会・代表)	愛媛
5	5月18日	タイの支援活動とスタディツアーの意義、楽しみ	タイ・ベトナムでの音楽教育支援活動について知る。また、ベトナムのスタディツアーに参加した学生の報告を実施する。	長尾洋子(NPO法人ハーモニーワークキャンプ・代表)、林拓司(徳島大学学生)	徳島
6	5月25日	カンボジアにおける女性の職業訓練、保健・医療、教育などの支援	カンボジアで貧困地域の住民を対象に教育、保健、職業訓練の支援を行うNGOの活動を知る。	新田恭子(公益社団法人セカンドハンド・創設者)	香川
7	6月1日	アフリカの実情とザンビアに対する支援	アフリカの実情を知り、ザンビアで保健・医療、マイクロクレジットなどの支援活動に取り組むNGOの活動を知る。	吉田修(NPO法人TICO・代表)	徳島
8	6月8日	中間まとめと平和構築・人間の安全保障	これまでの講義について振り返り、要点を確認する。後半は紛争に関する切り口から国際協力を考える視点を提起する。平和構築や人間の安全保障について解説する。	饗場和彦(徳島大学総合科学部人間社会学科・教授)	徳島
9	6月15日	カンボジアにおける地雷除去	元自衛官がカンボジアの地雷や不発弾の除去に取り組む、除去後の地域の村落開発取組に取り組む活動を知る。	高山良二(カンボジア地雷処理・地域復興支援の会・代表)	愛媛
10	6月22日	スリランカなど紛争地における居住環境支援	紛争地で家をなくした人々への住居建設の支援を学ぶ。	山本真太郎(Habitat for Humanity、徳島大学卒業生)	東京
11	6月29日	県・市町村の国際交流・国際協力	県や市町村など地方の行政レベルで行う国際交流、国際協力の活動を学ぶ。	財団法人徳島県国際交流協会、藤井園苗(上勝町)	徳島
12	7月6日	JICAとODA	JICAの行なう様々な支援活動やODA、青年海外協力隊などについて学ぶ。	新納宏(独立行政法人国際協力機構四国支部・支部長)、協力隊OB	東京
13	7月13日	国連の活動	国連機関であるUNITARについて学ぶ。また、国連職員として働くことになった経緯や仕事に必要なスキルなどについて聞く。	岡部かおり(UNITAR広島事務所)	広島
14	7月20日	ソーシャルビジネス、BOP、CSR	デンソーのソーシャルビジネスへの取組みを知る。	デンソー	東京
15	7月27日	試験	レポートを課すので試験は実施しない。	饗場和彦(徳島大学総合科学部人間社会学科・教授)	徳島
16	8月3日	総括	ビデオを用いて、授業の総括を行う。	饗場和彦(徳島大学総合科学部人間社会学科・教授)	徳島

## 平成23年度 香川大学・JICA四国・四国NGOネットワーク共催

## 香川大学「国際協力論」

## ～ 香川から世界へ 持続可能な社会づくりのために ～

No.	月日	講座名	主な内容	担当講師〔所属先・役職名〕	
1	4月11日	ガイダンス、アンケート、国際協力の基礎講座(1)	この授業の趣旨やスケジュールなどの概要を伝える。また、アンケート調査で受講生の意識や希望を聞き、今後の授業展開に生かす。また、ODA(政府開発援助)やNGO(非政府組織)など、国際協力の用語を学ぶ。	香川大学、独立行政法人国際協力機構 四国支部、四国NGOネットワーク	香川
2	4月18日	JICAが実施する国際協力	政府レベルの国際協力の概要やJICAが実施している青年海外協力隊について学び、マクロな視点で国際協力の様々な取り組みを学ぶ。	新納宏(独立行政法人国際協力機構 四国支部・支部長)	香川
3	4月25日	【愛媛発！国際協力団体】アフリカ支援活動	モザンビークで行われている草の根レベルの国際協力活動の実態やESD(持続可能な開発のための教育)の意義を学び、四国・私たちの暮らしとのつながりを考える。また、本講義をコーディネートする四国NGOネットワークについて知る。	竹内よし子(NPO法人えひめグローバルネットワーク、四国NGOネットワーク・代表)	愛媛
4	5月2日	国際社会論入門	日本社会の国際化の現状と課題について考える。	平篤志(香川大学)	香川
5	5月9日	香川県の国際化、香川県が実施する国際協力活動	香川県の在住外国人の現状や国際協力の現状。また香川県が主体となり実施する国際協力活動について学ぶ。	田川順大(香川県国際課)、松本祐蔵(香川県立中央病院)	香川
6	5月16日	難民問題と日本の対応	難民事業本部の活動について知り、参加型の学習で難民問題について考える。	中尾秀一(難民事業本部 関西支部・事務局長)	兵庫
7	5月23日	【徳島発！国際協力団体】ザンビアでの医療支援活動	ザンビアの医療事情について学び、貧困を生み出す国際社会の仕組みについて考える。専門家として国際協力活動へ関わる重要性和地域市民との関わりについて学ぶ。	吉田修(NPO法人TICO・代表)	徳島
8	5月30日	国際協力論基礎講座(2)	国際協力、特に、国際教育協力の歴史と仕組みを学び、課題について考える。	正楽藍(香川大学教育・学生支援機構)	香川
9	6月6日	【香川発！国際協力団体】ラオスでの支援活動	ラオスにおけるベトナム戦争時の不発弾の被害状況、教育支援が求められる現状から、国際協力のあり方、国際社会における市民社会の構築を考える。	蓮井孝夫(NPO法人香川国際ボランティアセンター・理事長)	香川
10	6月13日	国連機関・ユニタールの活動	国連機関であるUNITARIについて学ぶ。また、国連職員として働くことになった経緯や仕事に必要なスキルなどについて聞く。	岡部かおり(UNITAR広島事務所)	広島
11	6月20日	オイスカの活動と海外研修生や留学生とのワークショップ	農村開発や植林活動について学ぶ。また、各国からの研修生や留学生とのワークショップを通し、途上国への理解を深める。	柿沼瑞穂(公益財団法人オイスカ 四国研修センター・所長)	香川
12	6月27日	【香川発！国際協力団体】カンボジアでの支援活動	カンボジアでの教育・自立・医療支援などについて、また、その活動を通して考える国際協力について学ぶ。	平野キャンシー(公益社団法人セカンドハンド・理事長)	香川
13	7月4日	企業の国際協力活動	日本ポリグルが行うBOPビジネスについて学び、企業活動を通して行う国際協力活動について考える。	小田兼利(日本ポリグル株式会社)	大阪
14	7月11日	国際協力団体で働く、学生として活動する	国際協力団体で働くスタッフから、NGOで働くことになった経緯、やりがい、仕事に必要なスキルなどを聞く。また、NGOの学生部で活動する大学生より、活動してのやりがいや学びについて聞く。	後藤尚子(公益社団法人セカンドハンド・事務局)	香川
15	7月25日	「国際協力論」総括	参加型の学習形式で世界とのつながりを知り、また全講義を振り返り、国際協力について考える。	平篤志(香川大学) ほか	香川

平成23年度 愛媛大学・JICA四国・四国NGOネットワーク共催  
 愛媛大学 法文学部「国際協力論Ⅱ」  
 ～ 四国から世界へ 実践！持続可能な社会づくりに向けて ～

No.	月日	講義名〔仮題〕	主な内容(予定)	担当講師(所属先・役職名)	
1	4月13日	ガイダンス、ボランティア・NGO・国際協力について	国際協力論の概要。持続可能な社会づくりのために、様々なレベルの国際協力がどのように行われ、どのように地域と結びついているかについて学び、さらに問題解決に向けて実践することが目的であることを説明。	栗田英幸(愛媛大学法文学部助教授)、横内悠(JICA国際協力推進員)、竹内よし子(四国NGOネットワーク・代表)、横田創(GNET・代表)	愛媛
2	4月20日	四国の国際協力、大学生の国際協力	今後のグループワークに向けた基礎情報として、JICA四国、SNNより四国における国際協力の現状をダイジェスト版で紹介する。また全国の学生の取り組みを数例紹介する。	横内悠(JICA国際協力推進員)、横田創(GNET・代表)、林知美(NPO法人えひめグローバルネットワーク・事務局)	愛媛
3	4月27日	グループワーク①	各グループに分かれて今後協働していくJICA、NGOと方向性を決定する。		
4	5月11日	多文化共生の必要性	地域における国際化やグローバリズムの状況を把握し、地域における国際交流・多文化共生社会について考える。	敷村弥生(まつやま国際交流センター・所長)	愛媛
5	5月18日	JICAの果たす役割	政府レベルの国際協力の概要やODA(政府開発援助)、MDGs(ミレニアム開発目標)、青年海外協力隊など、マクロな視点で捉えた国際協力とともに、アフリカBOPビジネスについても学ぶ。	新納宏(独立行政法人国際協力機構四国支部・支部長)、梁瀬直樹さん(独立行政法人国際協力機構アフリカBOPビジネス担当)	香川
6	5月25日	持続可能な社会のための人づくり ESDと教育現場	ESD(持続発展教育)と学校の取り組みについて学び、学習の場をデザインすることについて考える。	松山市内の教員を予定	愛媛
7	6月1日	JICA青年海外協力隊と帰国後の地域での取り組み	JICA青年海外協力隊として活動した経験と帰国後の地域での取り組みについて話を聞き、国際協力と地域での取り組みとのつながりや国際協力への関わり方について考える。	渡部幸(石鎚ふれあいの里)、大川理恵(オレンジプラネット・代表)	愛媛
8	6月8日	グループワーク②	これまでの講義内容を踏まえ、グループディスカッション、NGOとのディスカッションを行い、大学生が実践的に関わっていける国際協力のあり方について議論を深め、企画をつくる。	横田創(GNET・代表)、林知美(NPO法人えひめグローバルネットワーク・事務局)	愛媛
9	6月15日	中間まとめ	グループワーク等で作成した企画の中間発表をする。	栗田英幸(愛媛大学法文学部助教授)、大川理恵(オレンジプラネット・代表)、林知美(NPO法人えひめグローバルネットワーク・事務局)、横田創(GNET・代表)	愛媛
10	6月22日	学生企画:フィリピン支援と在住外国人問題	フィリピン・ミンダナオ出身で在日フィリピン人支援に取り組む講師の話を聞き、在住外国人問題について学ぶ。	アガリン・サラ・長瀬(KAFIN・代表)	埼玉
11	6月29日	学生企画:フェアトレード	フェアトレード、コミュニティ・カフェと企業や他団体との協働について学び、国際協力活動に対する大学生としての関わり方を考える。	竹内よし子(えひめグローバルネットワーク・代表)	愛媛
12	7月6日	グループワーク③	これまでの講義内容を踏まえ、グループディスカッション、NGOとのディスカッションを行い、大学生が実践的に関わっていける国際協力のあり方について議論を深め、企画をつくる。	横田創(GNET)、林知美(えひめグローバルネットワーク)	愛媛
13	7月13日	学生企画:東ティモール農と地域と国際協力	「揺るがない地域」を農から考える重要性和地域から世界につながる市民活動について考える。	横田創(GNET・代表)	愛媛
14	7月20日	学生企画:中東と日本	中東和平に対する市民レベルの取り組みについて話を聞き、「対話」の重要性や学生だからこそできるアプローチについて考える。	大川理恵(オレンジプラネット・代表)、日本・イスラエル・パレスチナ学生会議	愛媛/東京
15	7月27日	まとめ	各グループによるミニプレゼンテーションを行い、全体でのプロセスの評価、共有を通して後半の講義を総括する。	栗田英幸(愛媛大学法文学部助教授)、横内悠(JICA国際協力推進員)、竹内よし子(四国NGOネットワーク代表)、横田創(GNET)	愛媛

平成23年度 高知大学・JICA四国・四国NGOネットワーク共催  
 高知大学 課題探求実践セミナー(国際協力入門)  
 ～ 四国から世界へ 持続可能な社会づくりに向けて ～

No.	月日	講義名	主な内容	担当講師(所属先・役職名)		
1	4月29日	国際協力活動・導入編	国際協力は人がアクションを起こすことから始まる。あなたにはどのようなアクションが可能でしょうか。今あなたが住んでいる地域で何ができるのでしょうか。グローバルは社会における「協力」の意味を考えていく。	蓮井孝夫(NPO法人香川国際ボランティアセンター・理事長)、担当者未定(高知県社会福祉協議会)	香川・高知	
2		国際協力ワークショップⅠ	上記の講義内容に関する少人数ワークショップとプレゼンテーションを実施する。	蓮井孝夫(NPO法人香川国際ボランティアセンター・理事長)、石筒覚(高知大学人文学部・准教授)		
3						
4	5月13日	ボルネオ島の中山間地域問題と高知	マレーシア・サラワク州(ボルネオ島)で起きている環境問題、過疎化・高齢化問題と高知の中山間地域の問題を比較しながら、その本質を探る。	市川昌広(高知大学農学部国際支援学コース・教授)	高知	
5		国際協力ワークショップⅡ	上記の講義内容に関する少人数ワークショップとプレゼンテーションを実施する。	石筒覚(高知大学人文学部・准教授)、市川昌広(高知大学農学部国際支援学コース・教授)、池島耕(高知大学農学部国際支援学コース・准教授)		
6	6月3日	アジアにおける環境問題と日本	都南アジアのマングローブ林の現状と日本との関係を通じて環境問題を考える。	池島耕(高知大学農学部国際支援学コース・准教授)	高知	
7		国際協力ワークショップⅢ	上記の講義内容に関する少人数ワークショップとプレゼンテーションを実施する。	石筒覚(高知大学人文学部・准教授)、市川昌広(高知大学農学部国際支援学コース・教授)、池島耕(高知大学農学部国際支援学コース・准教授)		
8	6月24日	外交講座 ～災害現場から見た国際支援のあり方～(予定)	世界で発生した災害の現場から見た国際支援の現状を考える。	外務省担当者	東京	
9	7月17日	「地球市民」と国際理解教育	「地球市民」の考え方、国際理解教育の意義を方法を実践を交えて学ぶ。	坂山英治(四万十町立七里小学校・校長、国際理解の風をつくる会・代表)	高知	
10		国際協力ワークショップⅣ	上記の講義内容に関する少人数ワークショップとプレゼンテーションを実施する。			
11		コグウェイ四国と国際協力	『自転車は世界を繋ぐ』を合言葉に、自転車で社会へメッセージを発信する『コグウェイ』の代表として世界を駆け巡る。世界で見聞した現状を伝えるとともに、地域から世界にできることは何かを考える。	山崎美緒(サイクリスト・コグウェイ代表・エリトリア共和国観光親善大使・日本アフリカユースネットワーク代表)		東京・愛媛・香川
12	国際協力ワークショップⅤ	上記の講義内容に関する少人数ワークショップとプレゼンテーション	竹内よし子(NPO法人えひめグローバルネットワーク、四国NGOネットワーク・代表)・蓮井孝夫(NPO法人香川国際ボランティアセンター・理事長)			
13	9月10日	国際協力活動実践報告会	9月までに参加したスタディツアー、研修・講座・講義参加、インターンシップ、ボランティア体験、イベント支援、自ら企画した活動などについての、学生による「国際協力活動」報告(1人・5分)とワークショップを実施する。(これはこのまま最終レポートの基礎材料になります。)	竹内よし子(えひめグローバルネットワーク、四国NGOネットワーク・代表)、蓮井孝夫(NPO法人香川国際ボランティアセンター・理事長)、石筒覚(高知大学人文学部・准教授)	愛媛・香川・高知	
14		ラオスから考える国際協力と平和	ラオスにおけるベトナム戦争におけるクラスター爆弾の被害状況、教育支援活動が求められる現状等から、国際協力のあり方、地域と国際社会における市民社会の構築を考える。	蓮井孝夫(NPO法人香川国際ボランティアセンター・理事長)		香川
15		国際協力ワークショップⅥ	上記の講義内容に関する少人数ワークショップとプレゼンテーションを実施する。	蓮井孝夫(NPO法人香川国際ボランティアセンター・理事長)		
16		国際協力ワークショップⅦ	上記の講義内容に関する少人数ワークショップとプレゼンテーションを実施する。	蓮井孝夫(NPO法人香川国際ボランティアセンター・理事長)		
17	9月11日	国家として行う国際協力の意味、JICAの取り組み	政府開発援助(ODA)の概要、JICA事業の特徴、青年海外協力隊事業ほか、新たな協力のあり方などマクロな視点での国際協力の現状を学び、またJICA事業例として協力隊活動についても事例を知るとともに、改めて、自分たちに何が出来るかを考える。	新納宏(独立行政法人国際協力機構四国支部・支部長)	愛媛・香川・高知	
18		アフリカ支援と地域とのつながり	アフリカ大陸にあるモザンビークで行われている草の根レベルの国際協力活動の実態やESD(持続可能な開発のための教育)の意義を学び、四国・私たちの暮らしとのつながりを考える。	竹内よし子(NPO法人えひめグローバルネットワーク、四国NGOネットワーク・代表)		
19		国際協力ワークショップⅧ	上記の講義内容に関する少人数ワークショップとプレゼンテーションを実施する。	竹内よし子(NPO法人えひめグローバルネットワーク、四国NGOネットワーク・代表)、蓮井孝夫(NPO法人香川国際ボランティアセンター・理事長)、石筒覚(高知大学人文学部・准教授)		
20						